

## 第9回(平成18年度)IODP 部会・執行部会 議事録(案)

日時:2007年3月19日(月) PM13:30~17:30

場所:海洋研究開発機構東京事務所 大会議室

### 出席予定者(敬称略)

執行部:鈴木徳行(北海道大学) 阿波根直一(北海道大学) 荒井晃作(産業技術総合研究所)  
石橋純一郎(九州大学) 北里 洋(海洋研究開発機構) 佐藤時幸(秋田大学) 佐柳敬造(東海大学)  
白井正明(東京大学海洋研究所) 山田泰広(京都大学) 山本啓之(海洋研究開発機構)

オブザーバー:

東京大学海洋研究所:徳山英一  
文部科学省海洋地球課:宿利一弥 杉山真人  
海洋研究開発機構国際課:鷺尾幸久  
海洋研究開発機構 CDEX:川村善久  
事務局:山田泰 長橋徹 加賀谷一茶

### 欠席予定者(敬称略)

執行部:海野進(静岡大学)

### 議事次第(案)

#### 1. 報告事項

国際SAS 関連

- (1) IODP・SAS 委員会/パネル委員ローテーションについて[事務局]
- (2) IODP・SAS 委員会/パネル委員ローテーションルール(最終)の承認[事務局]
- (3) 第9回SPC 大阪会議報告[北里委員/事務局]

IODP/J-DESC 関連

- (4) PMO 会議報告[阿波根部会長補佐]
- (5) 平成18年度第2回IODP 国内科学計画委員会報告[鈴木部会長/事務局]

普及/広報活動関連

- (6) 連合大会「地球掘削科学」について[石橋委員/事務局]
- (7) IODP 大学&科学館キャンペーン(in名古屋)報告[事務局]
- (8) J-DESC 刊行物製作状況について[事務局]

#### 2. 審議事項

乗船関係

- (1) IODP 乗船研究者アンケート解析結果の対応について[佐藤委員]

IODP/J-DESC 関連

- (2) 2007年度J-DESC 会員総会について[鈴木部会長/事務局]
  - ・議事次第(案)
  - ・運営方法(議事進行)など
- (3) J-DESC 会長の交代について[鈴木部会長]
- (4) J-DESC 規約の変更について(役員任期の変更)[鈴木部会長/事務局]
- (5) IODP 部会部会長の交代について[鈴木部会長]
- (6) IODP 部会規則の変更について(役員任期の変更)[鈴木部会長/事務局]
- (7) 平成19年度活動方針と予算(案)[阿波根部会長補佐/事務局]
- (8) 科学計測専門部会/古生物WG の設置について[石橋委員]
- (9) J-DESC スクール(仮称)構想について[石橋委員]

普及/広報活動関連

- (10) 平成19年度IODP 大学&科学館キャンペーンについて[事務局]

#### 3. その他

- (1) その他の報告事項など
- (2) 次回執行部会日程

## 配布資料

- 資料9-1 IODP・SAS 委員会／パネル委員ローテーション表(案)
- 資料9-2 IODP・SAS 委員会／パネル委員ローテーションルール(最終案)
- 資料9-3 #9 SPC Meeting agenda
- 資料9-4 PMO Meeting 報告書(暫定版)
- 資料9-5 (1) IODP 乗船研究者アンケート
- 資料9-5 (2) IODP 乗船研究者アンケートに見る IODP 研究航海の問題点について
- 資料9-6 **【平成 18 年度第 2 回 IODP 国内科学計画委員会資料】**  
資料1 平成 18 年度第 1 回(通算第 6 回)IODP 国内科学計画委員会からの活動報告  
資料2-1 IODP 掘削プロポーザル作成支援課題実施および成果報告書\_巽氏提案  
資料2-2 IODP 掘削プロポーザル作成支援課題実施および成果報告書\_小川氏提案  
資料3-1 「IODP 国内研究推進に関する要望について」(JAMSTEC 理事長)  
資料3-2 「IODP 国内研究推進に関する提言について」(J-DESC・IODP 部会長)  
資料4-1 平成 18 年度活動報告および平成 19 年度の活動方針(JAMSTEC)  
資料4-2 平成 18 年度活動報告および平成 19 年度の活動方針(J-DESC)  
資料5 IODP 国内科学計画委員会の今後の役割と進め方について
- 資料9-7 (1) 古生物 WG 設立提案書
- 資料9-7 (2) 古生物 WG 会則(案)
- 資料9-8 連合大会「掘削地球科学」セッション投稿応募状況
- 資料9-9 IODP 大学&科学館キャンペーン(in 名古屋) 報告
- 資料9-10 J-DESC Newsletter Vol. 01 英語版訳稿
- 資料9-11 **2007 年度 J-DESC 会員総会資料】**  
総会議事次第(案)  
資料1 コンソーシアム 2006 年度活動報告  
資料2 IODP 部会 2006 年度活動報告  
資料4 2006 年度収支決算報告  
[添付：今年度現時点執行状況添付 \*総会時には配布なし。]  
資料5 コンソーシアム規約改正(案)  
資料6 IODP 部会規則改正(案)  
資料7 IODP 部会 2007 年度活動方針(案)  
資料9 2007 年度執行体制(案)  
資料10 2007 年度収支予算(案)  
[添付：J-DESC HP 来年度コストについて \*総会時には配布なし。]  
(資料3, 8 は陸上掘削部会資料のため、本日配布なし)
- 資料9-12 IODP 乗船研究者育成支援
- 資料9-13 平成 19 年度 IODP 掘削プロポーザル作成支援課題 募集要領(案)

## 1. 報告事項

### 国際 SAS 関連

#### (1) IODP・SAS 委員会／パネル委員ローテーションについて[事務局]

標記の件について、事務局より説明がなされた。

##### ・SASEC

今月 22-23 日開催のビデオ Mtg.において、異委員が BoG 委員になるため、ご後任に川幡穂高氏（東大海洋研究所）が承認された。

##### ・SPC

今月 4-6 日に開催された#9 SPC Mtg.において北里委員、野村委員がご退任となった。そのご後任に徳永朋祥氏（東京大学）、大河内直彦氏（海洋研究開発機構）の両名が承認された。

##### ・STP

昨年 12 月に開催された#4 STP Mtg.において笠原委員、坂本委員がご退任となった。そのご後任に増田幸治氏（産業技術総合研究所）、成瀬元氏（京都大学）の両名が承認された。

#### (2) IODP・SAS 委員会／パネル委員ローテーションルールについて[事務局]

かねてから本執行部会でも議論を重ねてきた標記の件について、事務局より説明を行った。

第 6 回執行部会(06/12/6 開催)において、承認された本ルールについて、各専門部会で確認・意見召集を行ったが、異論が示されなかった。それを受けて、本執行部会をもって最終案が承認された。

→今後は原則、このパネルローテーションルールに基づいて、パネル委員のローテーション運用が行われることとなる。

ただし、今後も SAS の改組が SASEC で議論されることから、「本ルールは、SAS の改組に伴って、適宜変更される場合がある」旨を表記すべきであるとした。

今回、承認されたことにより、4 月の来年度 J-DESC 総会の参考資料として、周知をはかる。

#### (3) 第 9 回 SPC 大阪会議報告[山本委員／北里委員／事務局]

標記の件について、SPC 委員の山本委員、北里委員から報告がなされた。

- ・今回はプロポーザルのランキングがメイン、突出したプロポーザルがなかったため、ランキングが混乱した。
- ・NanTro など大きいものがスケジューリングされていたので、今まで下位にランキングされていたものが上位に上がってきた。
- ・航海の順番が報告された。
- ・SPC にあがってしまうと、サイトサーベイなどの一部を除き、プロポーザルの更新ができず、新鮮味が失われる。

そのため、ランキングされてもまた下位（OTF に送られない）になってしまう。

このようなプロポーザルが SPC の中でだいぶ溜まってきている。

→これらの扱いについては、次回 SPC 会議において検討される。

### IODP/J-DESC 関連

#### (4) PMO 会議報告[阿波根部会長補佐]

標記の件について、J-DESC から出席した阿波根部会長補佐から報告がなされた。

##### J-DESC の活動報告

- ・J-DESC 鈴木 IODP 部会長より提案された、SAS パネル議長向けチュートリアルについては、若干修正を加えた後に IODP-MI から各 SAS パネル議長へ配布することが承認された。

##### Expedition

- ・日程不明確な航海には、応募しづらく調整が大変であるという日本コミュニティの強い批判がある旨、PMO にて意見したところ、IOs は PMOs が要求すれば暫定スケジュール案を PMOs へ配布することは可能であるとコメントがあり、J-DESC としては直接 IOs とやり取りを進めていくこととした。

- (5) 平成 18 年度第 2 回 IODP 国内科学計画委員会報告[鈴木部会長／事務局]  
標記の件について、オブザーバーとして出席した鈴木部会長から報告がなされた。  
昨年度末に IODP 国内科学計画委員会から J-DESC に対して出された提言について
- ・今年度対応してきたことを IODP 国内科学計画委員会にて報告
- 昨年度末に IODP 国内科学計画委員会から JAMSTEC に出された要望について
- ・IODP 掘削プロポーザル作成支援課題として、経費項目を設置したが応募は合計 3 件であった。  
うち 1 件辞退され、採択は 2 件。  
第 1 回目の公募だった今年度は応募課題を CDP に特化したことが応募少数の一因であると考えられる。  
来年度からは内容を CDP に限定せず、枠を広げるためにも J-DESC からの提言を検討
  - ・上記を踏まえつつ、今後も継続的に支援を行うと JAMSTEC 側から明言して頂いたため、J-DESC として、効果的に活用していくこととしたい。

## 普及／広報活動関連

- (6) 連合大会「地球掘削科学」について[石橋委員]  
この件について、資料 9-8 に基づき、石橋委員から報告がなされた。  
セッション日程と座長[北里委員／白井委員]およびセッションハイライトについては、“「ちきゅう」掘削コア記載スキーム策定のためのガイドライン”に決定した旨、報告された。  
今後はプレスリリース、事前宣伝および関連ブースで宣伝実施について、つめていく。  
また、#3 IODP 成果報告会については、5 月 25 日（金）に開催することが確認された。
- (7) 第 14 回 IODP 大学&科学館キャンペーン(in 名古屋) 報告[事務局]  
この件について、事務局より報告を行った。
- ・今回初めての試みで、マントルにある鉱物：かんらん石(宝石名：ペリドット)を使った工作教室および IODP-MI 札幌オフィスでサイエンスコーディネーターをされている江口暢久氏を招いて、サイエンスカフェも実施し、大変好評であったことが報告された。  
IODP-MI への協力依頼方法について、ルートの検討が必要である旨のコメントがあった
- (8) J-DESC 刊行物製作状況について[事務局]  
この件について、事務局より報告を行った。
- ・J-DESC Newsletter Vol. 1 の英語版作成については、訳稿(案)が示された。  
今後、英訳の不明なところを解明し、執行部会内でも改めて確認して頂く。
  - ・J-DESC Newsletter Vol. 2 については、寄稿者のご都合および事務局の作業の遅れにより、来年度 4 月下旬に発行遅延。
  - ・J-DESC 新パンフレットについても、同様に発行遅延。

## 2. 審議事項

### 乗船関係

- (1) IODP 乗船研究者アンケート解析結果の対応について[佐藤委員]  
この件について、資料 9-5 (1), (2) に基づき、佐藤委員から報告がなされた。  
乗船前、乗船中、下船後など時系列ごと、乗船に関係する全体的な問題点・改善点が確認された。
- ・乗船研究者の支援機関：問題発生したときの窓口一本化。
  - ・乗船中、何をするか、サンプリングの仕方などについて、事前支援・教育をどうするか。
  - ・情報発信の仕方
  - ・マニュアルの整備 など。
- このアンケート(若干修正したもの)を活用し、日本人乗船研究者が抱えている問題を IODP 国内科学計画委員会に提出し、要望を出していく。  
また、アンケートを公開し、問題意識を共有し、乗船研究者環境をよりよいものにしていく。

## IODP/J-DESC 関連

### (2) ~ (7) 2007 年度 J-DESC 会員総会について[鈴木部会長/事務局]

標記の件について鈴木部会長および事務局から確認を行った。  
総会の資料(案)に基づきながら修正すべき点などを確認した。

### (8) 科学計測専門部会/古生物 WG の設置について[石橋委員]

専門部会内で設置に関して、資料9-7 (1), (2)に基づき、下記事務局から説明を行った。

- ・ IODP-MI 主導の Paleontology Coordination Group (PCG), QA/QC task force group が正式設置される  
→これを受け、国内古生物研究者の声を汲み上げ、迅速に対処する体制構築が必要。
  - 国内 WG として、科学計測専門部会下に古生物 WG を設置したい。
- 設置要望書および WG 会則(案)が承認された。  
設置手続き(幹事会の承認)を事務局で進め、会員総会で報告する。

上記、新 WG 設置に伴い、現在設置されている WG について議論なされた。

孔内計測 WG は海の地質基準と月刊地球に関することで活動予定ではあるが、活動休止状態に等しい。

→科学計測専門部会・技術開発推進専門部会にて、活動進捗を再検討し、その後執行部会にフィードバックすることとなった。

### (9) J-DESC スクール(仮称)構想について[石橋委員]

この件について、資料9-12に基づき、石橋委員から報告なされた。

前執行部会でも議題になっており、その際には J-DESC として大きな縛りをしない方が良くとまとめ、専門部会に返答した。

- IODP 乗船者向け事前トレーニングに関して、再度、必要性・緊急性が科学計測専門部会からあげられている。
  - ・スクール主催側から見れば、支援してもらってはいるが、タスクを背負っているということを明確にすれば、学内などでもとても活動しやすくなる。
  - ・上記、J-DESC 主催スクール化が可能かどうか検討するための準備委員会設置の上でプロジェクトを進めていくことが要望として出された。
- 現状では、今あるスクールを引き続き開催していくには問題ないが、乗船研究者支援のためのスクールということであれば、もっとより多くのスクールを継続的に開催していかなければならない。
- ECORD でもスクールを開催しているが、それはちゃんとファンドがあるし、参加者からも資金を集めているものである。そういう形で開催していけるのが一番望ましい。
- 今回は引き続き保留とし、次世代執行部会にて改めて議論することとなった[新執行部へ申し送りする]。

### (10) 平成 19 年度 IODP 大学&科学館キャンペーンについて[事務局]

第 14 回名古屋キャンペーンの開催報告を受けて、今後のキャンペーン形態をどうしていくかについて議論した。

“サイエンスカフェ”は E&O が義務になっているので、それを有効活用するのはとてもよい。

まずはサポート体制が整っているところ・実施できるところで開催していく。

サイエンスカフェの講演者は毎回同じにならないように、科学推進専門部会や執行部会内で支援する。

→NanTro 航海が始まることを受けて、周辺の三重県・和歌山県などでの開催も検討する。

## 3. その他

### (1) 次期 ISP 編集委員候補者推薦

科学推進専門部会から下記のとおり推薦があったことを、阿波根部会長補佐から報告がなされた。

それに基づき、固体・古海洋環境・微生物分野について、それぞれ 2 名の研究者を SASEC 委員へ通知することとした。

(2) 第3回 IODP 成果報告会について

この件について、石橋委員から報告がなされた。

連合大会翌日 5 月 25 日（金）に海洋研究所にて開催決定。

どこまで発表に含めるかは改めて Mail で検討することとなった。

一般向け、学生向けに発表対象 Exp. は 307 以降の 4 つの航海。

(3) 平成 19 年度 IODP 掘削プロポーザル作成支援課題について

標記の件について、来年度は 4 月中に公募開始予定であることを含め、事務局から説明が行った。

提案数を増やすことを目指し、CDP という縛りをなくしてはどうかを小泉委員会に提案することが確認された。

採択数は選考委員会にて、予算配分を考慮しながら検討する。

(4) NanTro の Co-Chief Mtg. について

JAMSTEC/CDEX の川村氏から標記について、

・ 4/11~13 付近で標記 Mtg. がある

・ 決起集会（予定：小柴ホール）のようなものを開き、皆様にご理解・ご協力頂く場を作りたい 旨、報告された。本件の詳細については、後日改めて周知がなされる予定。

(5) 次回執行部会日程について

次回執行部会は 4 月 8 日（日）PM12:00~13:30 にて開催することが確認された。